



8月14日、去年雨で中止になった為、2年ぶりの納涼祭がコミュニティ広場で開催されました。防災訓練の一環としてカレーライスの炊き出しがあり好評でした。神林太鼓の迫力ある演奏や、屋台、バザー、子ども広場、子ども花火大会など皆が楽しんでいました。

下神町会納涼祭



令和7年9月1日現在	2,090世帯
総世帯数	4,733人
総人口	2,333人
男	2,400人
女	

町神町会夏祭り



8月14日、町神公民館にて夏祭りが行われた。昨年は大雨の中での開催だったが、今年は天気にも恵まれ、190人余りの人が参加した。かき氷やお好み焼などの屋台があり、中でも焼き鳥は大人気で、長蛇の列ができた。ヨーヨーすくいやガチャガチャは子ども達が大変人気で、町神バンドの演奏で会場を更に盛り上げた。ビンゴゲームで番号読み上げのたび、歓声が鳴り響いた。子どもから大人まで多いに盛り上がった夏祭りだった。

南荒井子ども夏祭り

7月26日に子ども夏祭りが南荒井公民館にて開催され、園児や児童が約百人程参加しました。ポップコーン、かき氷、綿菓子、水ヨーヨー、スパーボールすくい、シャボン

川東ふれあい納涼祭

お盆休みの8月14日、川東ふれあい納涼祭が行われ、大



寺家ふれあい夏祭り

8月13日、205人が参加した夏祭りは、消防隊11人のラッパ演奏が響き渡り会場を盛り上げた。最初のスイカ割りには子ども達の参加が少なく、つくり。その後の花火大会は賑わった。

各常会の出店は、綿あめ、射的、かき氷、焼きそば、消防団の焼き鳥、育成会・PTAのポップコーンなどの販売に声を張り上げ呼び込んでいた。お楽しみのビンゴゲームは、



玉があり、暑さでかき氷が人気でした。



勢の家族連れで賑わった。小学生によるスライサー割りや皮切りにポッチャ、玉入れなどのゲームを行ったり、綿あめ、フランクフルトなどの出店も出ていた。ボンボン吊りに夢中になる子ども。その様子を目を細めて見守る大人たち。温かな雰囲気でお盆らしい行事だった。

1、2、3等の賞品が大袋に入っていて中身が判らなく、2番にビンゴした人は「14畳用サーキュレーターでし」とニコ顔でした。

このところ、玄関先の道端にタバコの吸い殻が頻繁に落ちていて、非常に腹立たしい。松本市は「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像に掲げ、市民一人ひとりが健康で生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、受動喫煙防止に関する条例を2019年7月1日に施行した。同年10月1日からは松本駅周辺の一部地域を受動喫煙防止区域(禁煙区域)に指定し、路上等での喫煙や歩きタバコの禁止、ポイ捨ての禁止等を掲げている。

では松本駅周辺でなければ歩きタバコやポイ捨てはいいのか?そんな事はない。条例では、道路等の公共の場所においても歩きタバコは禁止とされている。にも関わらず、歩きタバコ・ポイ捨てをする人々がいる。そもそも条例が施行された事すら知らない人もい

小さなお子さんのいるご家庭や、誰もタバコを吸わないご家庭。いろんな人が共に住む街なのだから、ルールやマナーを守り、ポイ捨てなどのモラルに欠ける行動は本当にやめていただきたいと切に願う。

鎖川

松本市は「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像に掲げ、市民一人ひとりが健康で生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、受動喫煙防止に関する条例を2019年7月1日に施行した。同年10月1日からは松本駅周辺の一部地域を受動喫煙防止区域(禁煙区域)に指定し、路上等での喫煙や歩きタバコの禁止、ポイ捨ての禁止等を掲げている。

戦後 80 年 神林平和祈念式典



過去の悲惨な戦争を風化させることなく後世に伝え、永

神林どの人あり！ 17

ずくけんだま
原 佑輔さん (町神)

「けん玉を通じて人と人がつながり、仲良くなって大きくなっていくことが大切だと思っています。」と夢を語るのは町神在住の原佑輔さん。けん玉チーム「ZUKUKE NDAMAS」代表で、県内外でけん玉教室の開催やイベントでのパフォーマンス、けん玉大会への出場や大会の開催など、けん玉を通じた活動を行っている。10年前にずく

遠の平和を祈念する神林平和祈念式典が8月16日(土) 神林神社南側の平和祈念碑前で関係者ら36名が参加して開催された。

黙祷を捧げ、野原実行委員長の式辞、市長からのメッセージ披露、碑文朗読後、小中学生代表各1名より平和への願いが朗読された。

神林子ども会代表の唐澤森さんは、「今幸せな生活を送っている事がどれほど大切な事であるかを感じている。戦争をしている国がなくなり、この先何十年何百年と平和が続いてほしい。戦争の恐ろしさを体験することなく平和な

世の中で過ごせるように願っている」と述べた。

菅野中学校2年生の丸山恋さんは、今年の夏、学校の代表として広島市の平和学習に参加した。「平和な世界は願うだけでは作ることができない。核兵器が使われないように世界中の人々が広島・長崎で起きた原爆被害の事実・恐ろしさを認識することが重要。そして、一人一人が自分のできる事を行動に移すことが大切」と述べた。

最後に、戦没者の名前の刻まれた慰霊碑に参加者全員が献花して世界の恒久平和を願った。

けんだまを立ち上げ、数人の練習会から始まったが現在では多い時では80名ほど集まってけん玉の魅力を伝えていく。ずくけんだまでは1回でも練習に参加すれば「ずくけんファミリー」となり、現在では200名のファミリーができた。中には毎年開催される「けん玉ワールドカップ」で活躍し、メディアにも注目されるファミリーもいて、けん玉の技術を研鑽する場にもなっている。

原さんは「私はファミリーのみんなが楽しんだり、練習



仲間たちと原さん (左)

8/18 地区のみんなと遊びたい

子ども会育成会、主任児童委員、公民館の3者共催による「夏休みわくわく子ども広場」が実施され、50人の子どもたちが、国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)を訪れました。

園内を巡るクイズラリーやクラフト体験をし、日本の原風景とも称される美しい景観の中、異年齢交流をしながら夏休みの思い出をつくりました。



つかまえたよ！

7月27日、天候に恵まれ、鎖川河川敷にて恒例のマスつかみ大会が約140名の子ども達に参加し開催された。

夏休みに入り連日の暑さの中、冷たい川に入り、楽しんでいた子も大勢いた。今回は大きな池を3カ所用意し、400匹のマスが放流された。

皆大きな声を上げながら1人2匹の目標に向かって、水の中に手を入れ魚を追いかけ楽しんだ。早々に2匹捕れた子や、なかなか捕れない子、捕れていない友達のを一緒に追いかける子など、皆が思い思いに満喫していた。最後は家に持ち帰り、つかみ取りの感想など喜々と話しながら散会した。



キーワードはなに？

本誌神林版の記事内に散りばめられているキーワードを見つけて言葉にしてください。分かった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。正解者の中から抽選で**5名に500円分のQUOカード**をプレゼント！

締切は**10月24日(金)**。当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております。

【前回の答え】

トランフカンセイ

【今回のキーワード】

〇〇〇〇〇〇